

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5204
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774210			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
霧島市の四季に富んだ自然風景や伝統行事自然を捉えた自由部門と、本年度からは新たにエアポート部門を加えた写真を公募し、優秀作品を展示することで、郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらう。 手順 ①開催要綱の決定 ②募集チラシの作成・広報 ③応募作品の審査 ④優秀作品の展示・表彰 (各地区の巡回展も開催する)			展示期間	2月25日~3月11日	巡回展	3月14日~5月30日
			応募総数	393点	応募者数	122名
			平成25年度計画			
			展示期間	2月10日~3月6日	巡回展	2月20日~3月30日
			応募総数	350点	応募者数	150名
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	出品点数	点	320	393	400	400
イ	出品者数	人	134	122	150	150
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	市民(鑑賞者)	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ	応募対象者	人	1,777,595	1,765,025	1,765,608	1,753,139
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	写真に対する関心を高めてもらう	人	5,650	3,350	4,450	4,450
イ	写真に対する関心を高めてもらう	人	134	122	150	150
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	32,611	35,874	***	***
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 旧国分市の市制50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? デジタルカメラや携帯電話の普及に伴い、どこでも気軽に撮影できるようになった。	
	当初予算額	524			715
	補正予算額	0			
決算額	予算合計	524	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか? 審査員を地元以外の方も入れる検討をして欲しい。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。	
	国庫補助金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
一般財源	524				
支出合計	524				

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	316		316	436		436	436		436
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	197		197	257		257	257		257
消耗品費	28		28	28		28	28		28
燃料費									
食料費									
印刷製本費	169		169	229		229	229		229
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	11		11	22		22	22		22
通信運搬費	11		11	14		14	14		14
広告料									
手数料				8		8	8		8
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	524		524	715		715	715		715

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				200		200	200	
一般財源	524		524	515		515	515		515
計	524		524	715		715	715		715

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	524千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	524千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
出品料 110千円 ポストカード売上代金 90千円
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	写真をとおして郷土への愛着と写真への関心を深めてもらうことを目的としているため、政策に一致する。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島(きりしま)をテーマにした写真展はないため。また、入賞した作品は霧島市に帰属するため、パンフレットなどにも活用できる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は霧島市を含めた県民及び環霧島会議加盟市町としており、意図についても写真展をとおして霧島市の豊かな風景等の再発見や写真に対して関心を深めてもらうこととしているので、妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	広く周知化を図ることにより、応募数や鑑賞者の人数を増やすことができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	幅広いテーマで応募できる写真展は他にないことから、広く関心を寄せてもらえている。写真を通じた郷土愛を感じる場がなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は写真展の周知、公募を図るためのチラシの作成と写真審査や入賞者への報償費が主な内容であり削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	文化協会の写真同好会等を実行委員会にして取り組むことも考えられるが、事務局を主管課におく以上、業務時間の削減にはつながらない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く市民に広報し、写真の公募を行っており、一部の市民の写真展ではないので公平・公正である。また、写真展を市民ギャラリーの開催や各地区での巡回展を行なうことでより広く市民に鑑賞の場を提供している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		・応募要項を早い時期に示すことや、展示会場を増やすなど、周知化を図ることで応募数や鑑賞者の増加につなげたい。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ①きりしまフォトコンテストの早い時期での応募要項の提示 ②巡回展の充実(上野原縄文の森を新たに追加) ③ポストカードの作成 期待される効果 これまで入選した写真の活用 ・入選した写真の貸出し ・パンフレット、HPなどでの活用	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 霧島市の良さ(自然、風景など)とフォトコンテストのPR 各イベントや各施設との連携 (夏まつり、文化祭、松下美術館など)

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
 - 一部記述不足のところがある
 - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
 - 一部に客観性を欠いたところがある
 - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	応募数を増やすことにより、成果向上が図られる。
C 効率性	その他財源(出品料、ポストカード売上代金)を増やすことにより、一般財源を削減することはできると考える。
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容 霧島市の良さ(自然、風景など)とフォトコンテストのPR 各イベントや各施設との連携 (夏まつり、文化祭、松下美術館など)	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容 特になし
--	---------------------------------

事務事業コード	774211	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5204
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774211			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
県内在住者及び環霧島会議官崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。今回から子ども絵画展をジュニア部門として統合した。ジオパークに関しては環霧島の地質遺産を取り入れた作品も加えて募集した。 実行委員会を組織して次のような業務を行なう。 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) ③審査 ④入賞作品展示→表彰式 ⑤搬出 ⑥巡回展(松下美術館、その後ジュニア部門は市内施設で実施) ⑦実行委員会(精算事務)			霧島美術展にジュニア部門を組入れた。 展示期間 10月6日~10月19日 応募総数 1630点 応募人数 1517人 入選以上 588点				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	出品点数	点	1,277	1,630	1,650	1,650	
イ	出品者数	人	1,208	1,517	1,550	1,550	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市民及び美術愛好家	市民の数	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ	県民及び美術愛好家	県民+環霧島会議加盟市町の数	人	1,777,595	1,765,025	1,765,608	1,753,139
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市民の美術に対する関心を高める	美術展入場者数	人	3,430	3,430	3,700	3,700
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組みきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	32,611	35,874	***	***
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 平成16年に旧国分市制50周年を記念して「国分美術展」が、平成元年に旧霧島町において「霧島を描く8号洋画展」として開始された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 出品者数も増加しており、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。ジュニア部門にも理解をいただき、多くの小中学生が応募してくれている。	
	当初予算額	1,250			1,650
	補正予算額	0			
予算合計	1,250	1,650			
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 実行委員会の一部で、美術展の全国公募にするべきとの意見がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 「霧島市美術展の今後について」 ・絵画、写真、彫刻、書等の常設展示館的なものの考えはないか。 ・霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか。	
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,250			
支出合計	1,250				

当初予算額を入れる

事務事業コード	774211	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,250		1,250	1,650		1,650	1,250		1,250
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,250		1,250	1,650		1,650	1,250		1,250

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,250		1,250	1,650		1,650	1,250		1,250
計	1,250		1,250	1,650		1,650	1,250		1,250

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	1,250千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,250千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774211	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	絵画に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながり、市民が芸術文化活動に取り組むきっかけとなる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	絵画の鑑賞や発表(公募)する機会の提供は、地域の美術に対する関心を高めるとともに、地域の文化の向上につながり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民をはじめ県民や環霧島地域を対象にして、広く美術展への公募を呼びかけていることにより、多彩でハイレベルな絵画が集まることで、美術に対して関心を高めることを目指しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	募集の時期を少しでも早くすることで出展数も増え、作品のレベルも上がり、鑑賞者の関心も高くなると考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	美術展に対する関心や応募者数は年々向上の傾向であることから、本事業を廃止又は休止した場合、文化の向上や地域活性化に与える影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	ポスター・パンフレット等の見直しなど事務費のコスト削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	ボランティアの導入を図り、職員の事務量を削減しており、更なる削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	出品料を徴収しており、展示会は無料で実施していることから公平公正である。なお、ジュニア部門の出品料は無料である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		応募案内の時期を早め、出品者に制作時間の余裕をもってもらうことで、各部門ともに出展数の増加が期待できる。また、高校生については、募集の周知が不足していると感じている。今後も他市の状況を参考にしながら、コスト削減を目指していきたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島美術展を全国公募とする。 ・パンフレットの見直し(ハガキを併用)することで事務の削減を図る。 ・シビックセンターでの展示終了後、昨年に引き続き松下美術館で巡回展を実施していく。 ・ボランティアの更なる募集をかける。 ・審査会を市内の小中学校の美術指導の先生方の研修の場とする。 ・経費の削減を進めるとともに、市民に関心がもてる美術展とする。 ・高校生に対する募集案内の強化	・審査員の見直し検討。 ・作品展示の工夫。

事務事業コード	774211	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
 - 一部記述不足のところがある
 - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
 - 一部に客観性を欠いたところがある
 - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	平成25年度から全国公募となり、成果向上が期待できる。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・審査員の見直し検討。 ・作品展示の工夫。 	特になし

事務事業コード	774271	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5204
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774271			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
市内の文化施設を活用して青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を養成する。 平成25年度から、生徒芸術鑑賞会事業、青少年劇場開催事業、舞台芸術鑑賞事業を統合し、児童生徒芸術鑑賞会事業とする。			内容 音楽鑑賞・神田 将電子オルガンコンサート・小椋桂と薩摩琵琶のタベ 劇団四季「こころの劇場」場所 霧島市民会館 対象 全中学3年生・市内12小学校・一部は一般				
事務手続き 県への開催希望申請 → 内定 学校との調整(日程調整・送迎バスの調整等) 実施		平成25年度計画					
		内容 音楽鑑賞 おとどけコンサート【福山中、牧園中、横川中、舞鶴中、溝辺中】音楽鑑賞「サキタハジメののこぎり音楽」市内12小学校 劇団四季ミュージカル「こころの劇場」市内の小学6年生					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	9	9	9	9	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	霧島市内の中学生	中学3年生の数、引率する教員の数	人	1,301	1,407	3,500	3,500
イ	霧島市内の小学生	霧島市内の小中学生の数	人	7,725	7,639	7,700	7,700
ウ	市民	地域(市内)の人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	入場者数	人	1,352	3,739	1,262	1,404
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	舞台鑑賞して感動した生徒の割合	%	75	75	75	75
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	32,611	35,874	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)	
予算額	当初予算額	8,571	4,181
	補正予算額	0	
	予算合計	8,571	4,181
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,261	
支出合計	8,261		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成8年度から、溝辺地区内の中学生の芸術鑑賞事業として開始された。合併後は、全小中学生を対象に3年に一度鑑賞機会があるように実施している。	学習指導要領の改正で、特に中学生においては芸術鑑賞等に使える時間が減少している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)	特になし

事務事業コード	774271	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	116		116						
消耗品費	20		20						
燃料費									
食料費	6		6						
印刷製本費	90		90						
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	254		254	116		116	116		116
通信運搬費									
広告料									
手数料	254		254	116		116	116		116
保険料									
13 委託料	6,783		6,783	2,835		2,835	2,835		2,835
14 使用料及び賃借料	1,108		1,108	1,230		1,230	1,230		1,230
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	8,261		8,261	4,181		4,181	4,181		4,181

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	8,261		8,261	4,181		4,181	4,181		4,181
計	8,261		8,261	4,181		4,181	4,181		4,181

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成24年度	当初予算	8,571千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	8,571千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	774271	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞することで、創造的な精神の醸成や芸術文化に対する造詣が深まることで、芸術文化活動に取り組みきっかけが得られる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	小中学生は鑑賞した生の公演に感動しており、十分に成果が出ていると考えているが、内容の検討を重ねてより良い成果を目指していきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	小中学生または一般の芸術鑑賞機会が減少することで、芸術文化活動に新たに触れたり、取り組みきっかけがなくなる恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	県の事業を利用していることや、単独実施でないツアーや南九州の他の市町村と連携して実施することで旅費などの経費削減に努めており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	鑑賞会実施までは学校と公演団体や県との調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全小中学生に対し、3年に一度の鑑賞機会があるように実施している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 小中学生の時期に、優れた生の音楽や舞台芸術に触れることは芸術文化活動のきっかけづくりに大きく寄与すると考える。今後も児童生徒が関心を持ち感動する舞台公演の確保に努めたい。なお、中学生に対する事業については、授業時間数の増により、鑑賞時間の確保が課題になりつつある。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・中学生に対する事業は、平成24年度に見直しをしたため、全中学校を対象に実施したが、平成25年度以降は3分の1の学校を対象に実施する。(3年に1回) ・効果をより正確に把握するため、中学生に対して、アンケート調査を実施する。	・市内小中学生の多感な時期に、素晴らしい生の舞台鑑賞をこれまでどおり実施していきたい。 ・小中学生のアンケートの結果でニーズを最大限に反映できるように、県や公演団体との調整を図っていきたい。

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 55 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	6	文化振興費		霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774223				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。 【活動内容】 霧島国際音楽ホールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。 期間 7月18日から8月5日(19日間) 主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・鹿児島市・公益財団法人鹿児島県文化振興財団 共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会 【事務事業】 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言								
補助金・負担金の交付先		財団法人ジェスク音楽文化振興会		補助金の対象経費		霧島国際音楽祭の運営に要する経費		
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	演奏会の回数	回		58	66	50	50	
イ	講習会の回数(クラス・コース)	回		15	16	15	15	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	市民	本来は県内外を対象としているが、ここでは市民を対象とした		人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	音楽祭を通して、音楽鑑賞の普及に努める	音楽を鑑賞した人数		人	17,986	15,880	17,000	17,000
イ	世界の演奏家による、実技指導を開催	受講生の数		人	165	157	160	160
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数		人	32,611	35,874	***	***
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	7,060	7,060	1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを主会場として開催されている。	合併当初に比べると、市民の音楽祭への認識度は高まりつつある。
	補正予算				
	予算合計	7,060	7,060		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国内外で評価の高い音楽祭であるが、今後も演奏会へのより一層の集客を図るため、市民に親しまれる演奏会となるよう、内容検討を図る必要がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 霧島国際音楽祭が今まで以上に市民の間に定着するよう、積極的に周知・広報に取り組んでもらいたい。
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,060			
支出合計		7,060			

事務事業 コード	744223	事務 事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業						担当部	教育部
									担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
1	財団法人ジェスク音楽文化振興会								補助金	7,000	補助金	7,000	補助金	7,000
									自主財源	72,715	自主財源	80,435	自主財源	77,000
	合計								79,715	91%	87,435	92%	84,000	92%
2	霧島国際音楽祭シンフォニーの丘のビュッフェパー ティーinみやま実行委員会								補助金	60	補助金	60	補助金	60
									自主財源	723	自主財源	630	自主財源	700
	合計								783	92%	690	91%	760	92%
3									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
4									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
5									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
6									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
7									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
8									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
9									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
10									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
計								補助金負担金合計	7,060	補助金負担金合計	7,060	補助金負担金合計	7,060	
								自主財源合計	73,438	自主財源合計	81,065	自主財源合計	77,700	
								自主財源率	91%	自主財源率	92%	自主財源率	92%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	7,060
補正予算	
合計	7,060

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	心豊かで質の高い生活を送り、創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、優れた音楽に触れることのできる音楽祭は文化の創造を図る街づくりに必要であり文化の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高いまちづくりに必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は音楽祭の演奏会を鑑賞する市民であり、意図については音楽祭を通して音楽鑑賞の普及に努めていることから妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	演奏会の内容を魅力あるものにし、観客数を増やすことは期待できる。また、受講生の申込みについても広く周知することで増加が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島国際音楽祭は国内外で評価の高い得ており、これまで30年以上の歳月をかけて、「音楽の街・霧島」を作り上げてきた。このような状況の中で廃止・休止することは、街づくりにマイナスイメージを与える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	全体事業費の自主財源率は90%を越えているが、主催者の経費削減の努力や有料公演会の観客を増やすことで交付額の削減は可能であると思われる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付の手続き並びに広報、地元開催(ロビーコンサート)の補助などであり、音楽祭運営には直接携わっていないため、今以上の業務時間の削減はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。公演会の開催等は広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 本年は33回を数え国内有数の音楽祭として定着してきているが、霧島市民に広く周知されているかは疑問である。特に霧島市民会館やシビックセンターなど市内で開催される演奏会は、主催者と連携し、周知の方法やチケットの販売方法などの見直しを行いながら、観客数の増加を図りたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 市民会館を直接運営する指定管理者の取組みも期待をしているが、連携を図りながら、市民に身近に感じてもらう音楽祭にすると共に、入場者数の増を目指す。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ①国際音楽祭が市民に親しみやすい音楽祭として定着し、児童生徒を中心に、世界的著名な音楽家の演奏を鑑賞することにより情操を育む。 ②市民が音楽祭に参加しやすいような、ジョイントコンサート等を検討する。 ③近隣の市町村へももっと積極的にPRをしていきたい。

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-5111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774226			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭招待アーティスト等と市民の参加する市民音楽祭を開催する。市民音楽祭に出演する団体とゲスト演奏家との共演や、専門家としての音楽指導(クリニック)を行うなど交流を図る機会を提供する。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 【事務内容】 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・ゲスト演奏家による音楽指導(クリニック) ・各事務精算			開催日:7月16日(月祝) 会場:みやまコンセール 出演数:6団体 入場者数:866人				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	音楽祭出演団体数	団体	6	6	6	6	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	霧島市民音楽祭に関心を持ってもらう	市民音楽祭を鑑賞した人の数	人	600	700	750	750
イ	霧島国際音楽祭に関心を持ってもらう	霧島国際音楽祭を鑑賞した人の数	人	17,986	15,880	17,000	18,000
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	32,611	35,874	***	***
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	24年度(決算)	1,250	25年度(予算)	1,250	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上がりを図るため、霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 市民音楽祭を開催することで、市民の霧島国際音楽祭への関心が高まってきている。
	補正予算額	0	0				
	予算合計	1,250	1,250				
決算額	国庫補助金	0	当初予算額を入れる	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民から、邦楽やジャズなどバラエティに富んだプログラムを取り入れてほしいという意見がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし		
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	1,155					
支出合計	1,155						

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,155		1,155	1,250		1,250	1,250		1,250
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,155		1,155	1,250		1,250	1,250		1,250

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,155		1,155	1,250		1,250	1,250		1,250
計	1,155		1,155	1,250		1,250	1,250		1,250

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	1,250千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,250千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を開催することによる舞台芸術活動の発表機会と鑑賞機会の提供は、日常生活に生甲斐と潤いを与え、文化の薫り高いまちづくりにつながり妥当である。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くため、市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより音楽の良さを再認識することができ、また、出演者も市内で活動している団体に広く呼びかけていることから妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	アンケートでは、多くの来場者から「満足した」との評価を得ている。今後は幅広いジャンルの演奏を提供し、さらに満足度を高めていく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が参加する演奏会であり、舞台芸術活動の発表機会や鑑賞機会が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	ゲスト演奏家を県内及び市内出身者の演奏家に依頼することで、経費の削減余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に運営委員会(実働)を設置したり、スタッフの公募などによって、開催時の役割分担を図り、職員の負担軽減に努めることができる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民全体に呼びかけて、開催するため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		市民参加の音楽祭として定着化してきていると感じている。出演者については、市内で活動する隠れた音楽団体の掘り起しも必要と考える。また、ゲストについては、市内出身者のアーティストの出演も検討したい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ・みやまコンセールで、日本を代表する音楽家と同じ舞台に立つことにより、一流の演奏技術向上や、音楽に取り組む意識を高め、大きく成長していくことを期待したい。 ・出演者自らが運営を実施することで、これまで以上に市民による手づくりの音楽祭としていく。 ・大隅国建国1300年記念事業との連携 創造舞台 ・ゲスト出演者に霧島市出身者等の検討 ・新規出演団体の掘り起し	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ・引き続き、あらゆるジャンルの音楽団体に参加していただくため、出演団体の選考に配慮していく。 ・市民による音楽祭とするため、市民スタッフ(ボランティア)を積極的に取り入れていきたい。

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
- 一部記述不足のところがある
- 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている (事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- 一部に客観性を欠いたところがある
- 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	鑑賞する人を増やす工夫をすることにより、成果向上を図ることができる。
C 効率性	スタッフとしてボランティアを活用し、また、リハーサルの実施方法の調整により、事業費を削減することができる。
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、あらゆるジャンルの音楽団体に参加していただくため、出演団体の選考に配慮していく。 市民による音楽祭とするため、市民スタッフ(ボランティア)を積極的に取り入れていきたい。 	特になし

事務事業コード	774272	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	45-5111
				内線番号	5204
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	6	文化振興費		
コード	774272				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会に運営費の補助金を出している。霧島市文化協会は、市内で文化活動を目的とする各種団体及び同好会が相互の連絡強調を図り、研鑽を深めるために結成している任意団体で、霧島市文化協会の傘下には、旧市町ごとに支部をおいている。

霧島市少年少女合唱団は市内の小学1年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回(土曜日午前)を練習日としている。平成8年に約80年ぶりに復活した貴重な郷土芸能「霧島神楽」を後世に伝えるため定期練習会や天孫降臨霧島祭への参加などを行っている。平成25年度からは、文化協会運営支援事業、少年少女合唱団運営事業、溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業、霧島神楽振興会運営支援事業を統合し、文化芸術支援事業とする。

補助金・負担金の交付先		補助金の対象経費					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	文化協会による文化事業への参加団体数	団体	288	221	250	250	
イ	演奏会等の出演回数	回	5	5	5	5	
ウ	神楽公演回数	回	24	20	20	20	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行う。	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行った人の割合	%	75	75	75	75
イ	合唱を通して、心豊かな青少年育成と音楽文化向上を図る。	少年少女合唱団員の数	人	51	45	40	40
ウ	霧島神楽を伝承する	公演及び練習に参加した人数	人	733	1,034	1,000	1,000
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。	芸術文化団体・組織の会員数	人	3,614	3,414	***	***
イ							

(2) 事業費 単位：千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)
当初予算額	2,260	2,560
補正予算		
予算合計	2,260	2,560
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	2,260	
支出合計	2,260	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
文化協会は合併を機に設立され、旧市町の文化協会は支部として活動している。学校週5日制(隔週)の導入に伴い、平成8年度に旧国分市で結成された。霧島神楽は旧霧島町で270年前の古文書が見つかり、記述をもとに復活させた。	会員の減少に伴い活動がむずかしい支部も出てきている。音楽活動に興味を持つ児童生徒の数は横ばいである。神楽の会員は、一時減少したものの、最近新規会員もでてきた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
文化協会への加盟数・会員数の減少に歯止めをかける、より一層の活動が求められている。市内全体の児童生徒が加入しやすいしかりをして欲しい。地域住民から霧島神楽を守り伝えていくべきだという意見が寄せられている。	特になし

事務事業 コード	774272	事務 事業名	文化芸術支援事業	担 当 部	教育部
				担 当 課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市文化協会									補助金	1,800	補助金	1,800	補助金	1,800
										自主財源	468	自主財源	539	自主財源	500
	合計									2,268	2,339	2,300			
2	霧島市少年少女合唱団									補助金	90	補助金	90	補助金	90
										自主財源	620	自主財源	376	自主財源	400
	合計									710	466	490			
3	霧島神楽振興会									補助金	370	補助金	370	補助金	370
										自主財源	1,244	自主財源	1,132	自主財源	
	合計									1,614	1,502	370			
4	県少年少女合唱祭開催地負担金									補助金		補助金	300	補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計										300				
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
計										補助金負担金合計	2,260	補助金負担金合計	2,560	補助金負担金合計	2,260
										自主財源合計	2,332	自主財源合計	2,047	自主財源合計	900
										自主財源率	51%	自主財源率	44%	自主財源率	28%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
合計									

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	2,260
補正予算	
合計	2,260

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	774272	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会活動、合唱団・神楽の練習・発表に取り組むことは、芸術文化の振興と伝統文化の継承に寄与する。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会活動、合唱団、神楽振興会に活動補助金の支出は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	いずれの団体も市内すべてを対象としていることから適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	会員や団員を増やすことで、充実した活動に取り組むことができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化活動の担い手がいなくなる。合唱団活動が停滞する。無形民俗文化財が一度途絶えると復活は非常に困難になる。このことから、継続していく必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	文化協会は活動の状況から、会費値上げや補助金の削減は厳しい。合唱団については自主財源率80パーセント超であり、妥当である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の交付事務と主な行事の補助であり、最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会は、会員それぞれが協会費を負担している。合唱団は市内の全学校の児童生徒を対象にしている。神楽については、郷土芸能という国民共有の財産であることから、行政支援は妥当である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会は、活発な活動を維持しているが、会員の高齢化と減少が問題になりつつある。合唱団においては、練習や合唱祭、老人ホームへの慰問など活動は活発で、他地域との交流も行っているが、団員が国分隼人地域にかたよっていることが課題である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島市文化協会 霧島市芸術祭の実施、会報「きりしま」の刊行 ・各支部 文化祭、チャリティーショーの実施 ・少年少女合唱団 第23回県少年少女合唱祭 文化協会文化祭 白い歌青い歌フェスティバル 第7回霧島市少年少女合唱祭 ・神楽振興会 郷土芸能の夕べ 霧島祭 南九州神楽祭り	・自主財源率を上げるための、広告収入などの確保(文化協会) ・霧島市芸術祭や文化祭、チャリティーショー等の充実を図る。(文化協会) ・より充実した合唱(オペレッタ・アカペラ)への取り組み(合唱団) ・これまで以外にも出演の機会を提供する。(神楽) ・郷土芸能保存会や神楽保存会(他市)との連携を図っていく。(神楽)

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	774311			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
平成25年度から文化財保護啓発事業と「霧島市を知る」ハンドブック作成事業と統合し、文化財保護啓発事業とする。地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島市を知る」をテーマとした事業を展開し、その一環として市内にある文化財をテーマ毎に紹介したハンドブックを作成し、文化財保護啓発事業を実施する。市民へ販売予定。 (事業内容) ①調査した文化財に関するハンドブックやパンフレットの作成、再販、販売 ②市報に「郷土史への扉」を掲載 ③文化財保護強調週間の周知化(広報掲載・パンフの掲示など) ④「文化財防火デー」に合わせて、神社等による防火訓練の実施 ⑤縄文シティサミット・九州地区市町村文化財保存整備協議会総会への参加			<ul style="list-style-type: none"> 文化財防火デー防火訓練の実施 「ぐるり霧島」、「島津義久いろは歌」増刷 広報誌に「郷土史への扉」を掲載 文化財保護強調週間の周知化 縄文シティサミットinきりしまの開催 			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	広報活動・情報発信の数	件	8	9	14	10
イ	文化財防火訓練の実施	回	2	2	2	2
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	地域住民(市民)	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	文化財に関心をもってもらう。	冊	550	11,000	3,000	5,000
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	%	75.8	76.4	***	***
イ						

(2)事業費 単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	3,927	1,926	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴史や文化財を地域住民の方々にもっと知ってもらい、文化財に関心を持ち、大切にすることを育むことを目的として「霧島を知る」事業を開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。これまではそれぞれの市町の文化財や歴史は学んでいたが、新しいまちのことについては知らない状況である。
	補正予算額	0			
	予算合計	3,927	1,926		
決算額	国庫補助金	0		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	303			
	一般財源	3,406			
支出合計		3,709			

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	974		974	1,095		1,095	1,095		1,095
8 報償費				100		100	200		200
9 旅費	141		141	386		386	386		386
10 交際費									
11 需用費	514		514	260		260	760		760
消耗品費				10		10	10		10
燃料費									
食料費									
印刷製本費	514		514	250		250	750		750
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	2,080		2,080	85		85	88		88
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,709		3,709	1,926		1,926	2,529		2,529

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	303		303	168		168	200	
一般財源	3,406		3,406	1,758		1,758	2,329		2,329
計	3,709		3,709	1,926		1,926	2,529		2,529

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成24年度	当初予算	3,927千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算				ハンドブック販売				
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	3,927千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、文化財を大切にすることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化財愛護思想を高めることで、各種イベントへの参加者が増え、より成果を高めることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	文化財調査の整理(調査カード)や文化財啓発に関する業務は事務補佐員を雇用しており、職員は意識啓発用の原稿作成や最小限の事務業務に留めている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財ガイドブック「ぐるり霧島・歴史探索の道」の配布(史跡めぐりコースの間合せ)が好調なため、新たに増刷を図った。上野原縄文の森開園10周年記念の一環として、縄文シティサミットinきりしまを開催し、関連事業として、パネル巡回展「縄文の世界」を実施した。今後も各種イベント等で文化財啓発の情報発信を続けていきたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・文化財防火デー防火訓練の実施 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化 ・「天降川流域の火砕流堆積物」国指定記念特別講演会及び案内看板等の設置 ・「霧島市文化財マップ」の増刷 各種団体が行うイベント等において、パネル展示を行うなどして文化財保護の意識高揚を図る。	・文化財防火デー防火訓練の実施 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化 ・「大隅正八幡宮境内と社家」国指定史跡記念特別講演会及び企画展の開催。 ・市内文化財調査の実施 → ハンドブック原稿作成。

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等理念条例、霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774319				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)							
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会の提供を行う。							
主な業務の内容							
①郷土芸能保存活動事業費補助金(運営補助)							
②イベント等への出演依頼(天孫降臨霧島祭、各地区の文化祭、学校行事等)							
③第3回霧島市郷土芸能祭の開催 → 実行委員会方式で開催							
郷土芸能保存団体の活動							
①郷土芸能の保存継承							
②地域の行事やイベントでの郷土芸能の発表							
補助金・負担金の交付先	郷土芸能保存会		補助金の対象経費	郷土芸能を継承するための運営補助			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	運営補助している郷土芸能保存会の数(運営補助している団体数)		団体	14	12	12	14
イ	霧島市郷土芸能祭に参加する保存団体の数		団体	7	7	1	7
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	保存団体		団体	42	42	42	42
イ	市民		人	127,365	127,475	128,362	128,861
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	郷土芸能が保存・継承される		団体	2	1	1	1
イ	伝統文化にふれる機会を持つ		回	32	31	31	31
ウ	伝統文化にふれる機会を持つ		人	500	650	800	650
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。		件	35	32	***	***
イ							

(2)事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	1,171	540
補正予算額		
予算合計	1,171	540
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1,115	
支出合計	1,115	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
郷土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため。また、後継者を育成するために始められた。運営補助としては、昭和50年代から実施している。	生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。保存会会員の高齢化が進み、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	特になし

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	下井道化踊り保存会									20人	補助金	36	補助金	36	補助金	36
										自主財源	41	自主財源	41	自主財源	41	
			○							合計	77	合計	77	合計	77	
										自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%	
2	清水田の神舞保存会									14人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
										自主財源	59	自主財源	60	自主財源	60	
			○							合計	104	合計	105	合計	105	
										自主財源率	57%	自主財源率	57%	自主財源率	57%	
3	敷根琉球人踊り保存会									31人	補助金	30	補助金	30	補助金	30
										自主財源	102	自主財源	100	自主財源	100	
			○							合計	132	合計	130	合計	130	
										自主財源率	77%	自主財源率	77%	自主財源率	77%	
4	重久神事神舞保存会									18人	補助金	32	補助金	32	補助金	32
										自主財源	100	自主財源	100	自主財源	100	
			○							合計	132	合計	132	合計	132	
										自主財源率	76%	自主財源率	76%	自主財源率	76%	
5	重久太鼓踊り保存会									26人	補助金	52	補助金	52	補助金	52
										自主財源	61	自主財源	61	自主財源	61	
			○							合計	113	合計	113	合計	113	
										自主財源率	54%	自主財源率	54%	自主財源率	54%	
6	竹子棒踊り保存会									45人	補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
				○						合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7	府中太鼓踊り保存会									30人	補助金	52	補助金	52	補助金	52
										自主財源	175	自主財源	180	自主財源	180	
			○							合計	227	合計	232	合計	232	
										自主財源率	77%	自主財源率	78%	自主財源率	78%	
8	小脇郷土芸能保存会									12人	補助金	35	補助金	35	補助金	35
										自主財源	36	自主財源	40	自主財源	40	
					○					合計	71	合計	75	合計	75	
										自主財源率	51%	自主財源率	53%	自主財源率	53%	
9	三体棒踊り保存会									18人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
										自主財源	13	自主財源	20	自主財源	20	
							○			合計	58	合計	65	合計	65	
										自主財源率	22%	自主財源率	31%	自主財源率	31%	
10	万膳太鼓踊り保存会									29人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
										自主財源	10	自主財源	20	自主財源	20	
							○			合計	55	合計	65	合計	65	
										自主財源率	18%	自主財源率	31%	自主財源率	31%	
11	田口棒踊り保存会										補助金		補助金	31	補助金	
										自主財源		自主財源	31	自主財源		
								○		合計		合計	62	合計		
										自主財源率		自主財源率	50%	自主財源率		
12	田口田の神舞保存会									12人	補助金	31	補助金	31	補助金	31
										自主財源	25	自主財源	25	自主財源	25	
									○	合計	56	合計	56	合計	56	
										自主財源率	45%	自主財源率	45%	自主財源率	45%	
13	霧島俵踊り保存会									30人	補助金	31	補助金	31	補助金	31
										自主財源	79	自主財源	80	自主財源	80	
									○	合計	110	合計	111	合計	111	
										自主財源率	72%	自主財源率	72%	自主財源率	72%	
14	栢田棒踊り保存会									25人	補助金	25	補助金	25	補助金	25
										自主財源	139	自主財源	100	自主財源	100	
									○	合計	164	合計	125	合計	125	
										自主財源率	85%	自主財源率	80%	自主財源率	80%	

15	川路原刀踊り保存会								15人	補助金	25	補助金	25	補助金	
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	51	合計	51	合計	
								○	自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率		
16	新原鎌踊り保存会								32人	補助金		補助金	25	補助金	
										自主財源		自主財源	25	自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計	50	合計	
								○	自主財源率		自主財源率	50%	自主財源率		
17	霧島市郷土芸能祭実行委員会（委託料）									補助金	631	補助金		補助金	631
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	631	合計		合計	631
	●								自主財源率		自主財源率		自主財源率		
18										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
19										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
20										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計								243人	補助金負担金合計	1,115	補助金負担金合計	540	補助金負担金合計	1,090	
									自主財源合計	866	自主財源合計	909	自主財源合計	827	
									自主財源率	44%	自主財源率	63%	自主財源率	43%	

■負担金の状況

単位：千円

	団体名・協議会名	負担金額	平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,171	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	1,171	第3回		第6回			

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、特に伝承者が途絶えると復活が困難である郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、さらには市民への周知などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思われるので、さらに、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行ってほしい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 隼人町民芸保存会運営支援事業 隼人町民芸保存会運営支援事業との統合ができないか検討する。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併以来保存会への運営補助は大幅に削減してきており、これ以上削減することは厳しい状況である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今までの出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	高齢化等により保存団体の活動は、今後ますます難しくなるとされる。引き続き保存団体の活性化につながる事業に取り組むとともに、団体間の連携と情報交換の場としての、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」の設立を早急に進めることが必要と考えている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ・大隅国建国1300年記念事業の一環として大隅地域の郷土芸能団体を招聘し、郷土芸能祭を実施する。 ・教育委員会から補助金を交付している団体に呼びかけ、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」の結成に取り組む。 ・隼人町民芸保存会運営支援事業との統合の可能性について引続き協議を行う。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ①霧島市郷土芸能祭開催の継続 ②各種イベント等への出演促進 ③補助金交付団体以外の団体の、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」への加入促進 ④記録保存の実施

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足で分かりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 十分に記述されている	② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている <small>(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</small> <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている
--	--

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <small>(十分に成果が出ている)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <small>(十分に成果が出ている)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	会員を確保することにより、成果向上の余地がある。
C 効率性	
D 公平性	会費収入、地区補助金の有無など、ばらつきがある。

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑥の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
①霧島市郷土芸能祭開催の継続 ②各種イベント等への出演促進 ③補助金交付団体以外の団体の、仮称「霧島市郷土芸能保存会連絡協議会」への加入促進 ④記録保存の実施	会員確保の支援に取り組む。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	45-5111
基本事業名	3	文化財の保存・整備		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	地方自治法、文化財保護法
	コード	774314			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
これまで調査した大隅正八幡宮宮内遺跡(社家館跡等)の報告書(総括報告書)を作成し、史跡整備のための基礎資料とする。国指定への意見具申の際に必要な総括報告書を作成する。また、国庫補助の対象となる個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための発掘調査を実施する。 ①大隅正八幡(鹿児島神宮)社家館跡の報告書作成。 ②発掘調査(国庫補助対象分)の実施。(気色の杜遺跡)			・大隅正八幡宮宮内遺跡 総括報告書作成 ・沢氏館跡・最勝寺氏館跡報告書作成 ・気色の杜遺跡発掘調査(個人)の実施			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	範囲確認調査の数(整理作業含む)	件	2	3	3	2
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	大隅正八幡宮宮内遺跡(社家館跡等)	箇所	2	3	2	2
イ	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地	件	524	524	525	525
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。	m ²	20	150	20	20
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	適切に保存し、後世に残す。	件	695	699	***	***
イ						

(2)事業費

単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額		
当初予算額	3,003	3,003
補正予算額	2,498	
予算合計	5,501	3,003
決算額		
国庫補助金	2,500	当初予算額を入れる
県支出金	300	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	2,205	
支出合計	5,005	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
本市にある貴重な史跡を調査し、その調査成果に基づいて整備を図り、後世に遺すとともに、緊急な発掘調査に対応することを目的として、平成11年から国庫補助を導入した。	一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調査及び工事立会いの件数も増加傾向である。範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
大隅正八幡宮宮内遺跡について、国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保護のため、国指定化を目指すように指摘されている。一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。	大隅国分寺跡地を史跡と市民公園を兼ねたものにしてほしい。大隅国分寺跡北側の市道拡張と埋蔵文化財保護との調整について早急に取り組んでほしい。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円		平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費		9	9		6	6		6	6
7	賃金		2,940	2,940		1,750	1,750		1,750	1,750
8	報償費		80	80						
9	旅費		316	316		2	2		2	2
10	交際費									
11	需用費		994	994		555	555		555	555
	消耗品費		65	65		67	67		67	67
	燃料費					5	5		5	5
	食料費									
	印刷製本費		929	929		483	483		483	483
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費		50	50		72	72		72	72
	通信運搬費		50	50		72	72		72	72
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料		472	472		500	500		500	500
14	使用料及び賃借料		144	144		118	118		118	118
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計			5,005	5,005		3,003	3,003		3,003	3,003

財源内訳	国		2,500	2,500		1,500	1,500		1,500	1,500
	県		300	300		300	300		300	300
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源			2,205	2,205		1,203	1,203		1,203	1,203
計			5,005	5,005		3,003	3,003		3,003	3,003

補助率	国	1/2	1/2	1/2
	県	1/10	1/10	1/10
補助基本額				

平成24年度	当初予算	3,003千円		
	補正予算	2,498千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)	2,000	第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	498
予算合計		5,501千円		

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由	
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅正八幡宮宮内遺跡は本市を代表する文化財であり、これを保存・整備することにより、市民や霧島を訪れた人が本市の歴史・文化を正しく理解し文化財に対する意識が深まるとともに、文化財を大切にすることを心がけるようになる。	
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、文化財の保護・整備は市が行わなければならない事務事業である。	
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡宮宮内遺跡は市街地内にあり、都市化が進む中で、遺跡の破壊・消失が懸念されているところであるので、早急な対応が必要である。	
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	発掘調査によって、遺跡の範囲や遺構が新たに判明するので成果は向上していく。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	全国的にも貴重な遺跡であり、開発が危惧される場所である。このままの状態でおくと、遺跡の破壊・消失が懸念される。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)	
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	発掘調査の作業のほとんどが手作業であり、また現地は市街地で住宅等に囲まれた場所が多く、大型機械の導入も難しいので、作業効率も悪く、事業費削減は厳しい。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	埋蔵文化財発掘調査業務(現地調査・整理作業・報告書作成含む)を民間委託することで、職員の事務量の軽減を図ることができる。但し、委託などに伴う費用は必要となる。	
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ遺跡はその地域の歴史を色濃く残すものである。文化財の保存と活用は地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、これらのことを考慮すると、行政が実施することが妥当である。	
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・気色の杜遺跡報告書作成 ・発掘調査(国庫補助対象分)の実施 ・気色の杜遺跡の、発掘調査の成果を周知(公開)することができる。特に本年は大隅国建国1300年に当たるため、これに関係する、気色の杜遺跡の調査成果は市民の関心が集まる効果が期待できる。 ・個人住宅や零細企業などの開発に伴う発掘調査に市内遺跡確認事業を適用することで、調査経費原因者負担の軽減と遺跡の記録保存につながる。	・大隅正八幡宮境内及び社家の整備保存に向けた発掘調査の実施。 ・大隅国府跡解明のための発掘調査の実施。 ・専門業者への委託(調査、実測、報告書作成)の検討。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
 - 一部記述不足のところがある
 - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
 - 一部に客観性を欠いたところがある
 - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	発掘調査の実施により成果は向上する。
C 効率性	人件費は委託により削減できるが、結果として事業費の増につながる。
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・大隅正八幡宮境内及び社家の整備保存に向けた発掘調査の実施。 ・大隅国府跡解明のための発掘調査の実施。 ・専門業者への委託(調査、実測、報告書作成)の検討。 	専門職員の育成に取り組む。

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ*
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 62 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	7	文化財保護費		鹿児島県文化財保護条例、霧島市文化財保護条例
コード	774310				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。 (市の活動) ・文化財の修復、整備、養生の実施 ・文化財周辺の環境整備及び案内板の設置 ・県指定文化財「福山のイチョウ」の養生 ・市指定羽山神社の杉養生 ・山ヶ野金山現地調査報告書の作成			・文化財の環境整備(清掃委託) ・案内看板および標柱の設置 ・福山のイチョウの養生 ・市指定羽山神社の杉養生 ・山ヶ野金山現地調査委託				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	整備した文化財の数	件	6	4	3	3	
イ	設置した文化財説明板・標柱の数	カ所	4	6	10	10	
ウ	環境整備を実施する文化財の数	件	46	46	52	52	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市内の文化財	市内文化財の数	カ所	690	695	700	700
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	修復、復元、養生を実施する	環境整備を実施した文化財の数	件	6	4	3	3
イ	文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数	部	4	6	10	10
ウ	清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施した文化財の数	件	46	46	52	52
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す	整備する文化財の数(累計)	件	284	289	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)	
予算額	当初予算額	4,113	3,336
	補正予算	100	
	予算合計	4,213	3,336
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	538	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,675	
支出合計	4,213		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
市内にある文化財を後世に残すため、文化財の保護(環境整備も含む)する。 また、見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。 草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
一般市民から ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。 ・草払いや掃除で、きれいになった。 ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。	天然記念物(巨樹・老木)の調査を実施してほしい。 また、その管理について個人負担が大きい場合は霧島市からの助成はできないか検討してほしい。

事務事業 コード	774310	事務 事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	23		23						
9 旅費	238		238						
10 交際費									
11 需用費	32		32	46		46	46		46
消耗品費	18		18	17		17	17		17
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	14		14	29		29	29		29
修繕料									
12 役員費	3		3	18		18	18		18
通信運搬費									
広告料									
手数料	1		1	15		15	15		15
保険料	2		2	3		3	3		3
13 委託料	2,841	1,076	3,917	3,236		3,236	3,236	1,200	4,436
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費				36		36	36		36
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,137	1,076	4,213	3,336		3,336	3,336	1,200	4,536

財源内訳	国								
	県		538	538				600	600
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	3,137	538	3,675	3,336		3,336	3,336	600	3,936
計	3,137	1,076	4,213	3,336		3,336	3,336	1,200	4,536

補助率	国								
	県		1/2					1/2	
補助基本額									

平成 24 年度	当初予算	4,113 千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算	100 千円							
	第1回				参加費等の事業実施のための収入説明				
	第2回								
	第3回								
	第4回								
	第5回								
第6回									
第7回									
第8回			100						
予算合計	4,213 千円								

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の修復、復元、養生等の整備を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ残すことにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らせ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市全域の文化財を対象としており、適切な範囲である。また、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信し、後世に伝える必要があることから意図も適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年度文化財の周辺整備(清掃等)を行い、説明板等を順次整備していけば、本事業の成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用の方から考えて整備対象を増やしていく必要があるため、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	昨年実施した案内看板等の調査で、一部旧市町名が記載されたものがあり、その一部について修正を行ったが、今後できるだけ早い時期に修正を終わらせたい。また、文化財周辺の環境整備とともに、天然記念物として指定されている樹木等については、樹木医による定期的な診断を検討したい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ・文化財の現状(案内板、標柱等を含む)について調査を行い、文化財の整備計画書を作成し、計画的な整備に取り組む。 ・国指定天降川流域の火砕流堆積物の案内説明板の設置。 ・市指定平熊の石橋修復 ・環境整備委託業務の充実を図る(職員の業務軽減)。 ・修復が終了した文化財や新たに国指定天然記念物となった天降川流域の火砕流堆積物の周知を図ることで文化財に対する関心度が高まる。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ・引き続き、文化財の計画的な整備を行う。 ・旧田中家別邸内壁面の修復(平成25年度より3か年) ・大隅正八幡宮境内と社家の国指定史跡化に伴う説明看板の設置 ・福山のイチヨウの樹木(主幹部)養生

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	7	文化財保護費		霧島市立埋蔵文化財調査事務所の設置及び管理に関する規則
	コード	774315			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
平成25年度から、緊急埋蔵文化財発掘調査事業と埋蔵文化財調査事業を統合し、埋蔵文化財発掘調査事業とした。周知の文化財包蔵地内において、緊急な開発工事が発生した場合、埋蔵文化財の記録保存を目的として緊急発掘調査を実施する。また、霧島市の埋蔵文化財の発掘調査によって出土した資料などの保存・整理等を行なうため、さらには発掘調査調査の成果を市民等に周知をはかるため埋蔵文化財発掘調査事務所を設置した。			調査事務所の管理運営 遺物等の整理・展示(郷土館等へ) 民間及び公共事業に伴う発掘調査の実施				
(事務事業の概要) 緊急埋蔵文化財発掘調査の実施(民間・公共) 埋蔵文化財発掘調査事務所の管理運営 出土した遺物等の整理、保管 本市の埋蔵文化財に関する情報発信		主な活動	平成25年度計画				
			調査事務所の管理運営 遺物等の整理・展示(郷土館等へ) 大隅国建国1300年に関する遺物の公開				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	発掘調査・整理作業をした遺跡の数	件	10	18	5	5	
イ	発掘調査によって収納した遺物の数(パンケース)	箱	23	33	25	25	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	遺跡の数	市内にある遺跡の数	件	523	523	523	523
イ	遺物の数	整理・保管してある遺物の数(パンケース)	箱	2,043	2,076	2,101	2,126
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	出土遺物の整理・保管	整理作業・保管した遺物の数	点	980	1,500	800	800
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	適切に保存し、後世に残す。	保存されている文化財の数	件	695	699	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	15,808
	補正予算額	-5,758
	予算合計	10,050
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	1,197
	一般財源	6,434
支出合計	7,631	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
合併前にそれぞれの地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。その遺跡の整理作業を行い、報告書を作成するとともに、資料を保管・管理する調査事務所が必要となった。	開発行為に伴う発掘や工事立会いが増えている。埋蔵文化財担当職員の他部署への異動や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなってきた。また、出土遺物は年々増ってきており、その管理と保管場所が課題となってきた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
発掘調査の迅速な対応をして欲しいとの要望がある。また、出土した貴重な資料や報告書を調査研究のために公開してほしいとの要望がある。	特になし

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	7		7	9		9	9		9
7 賃金	3,205		3,205	3,781		3,781	3,781		3,781
8 報償費				10		10	10		10
9 旅費				6		6	6		6
10 交際費									
11 需用費	540		540	1,958		1,958	1,958		1,958
消耗品費	87		87	134		134	134		134
燃料費	40		40	65		65	65		65
食料費									
印刷製本費	45		45	419		419	419		419
光熱水費	269		269	263		263	263		263
修繕料	99		99	1,077		1,077	1,077		1,077
12 役務費	49		49	90		90	90		90
通信運搬費	33		33	73		73	73		73
広告料									
手数料	2		2	3		3	3		3
保険料	14		14	14		14	14		14
13 委託料	2,215		2,215	2,956		2,956	2,956		2,956
14 使用料及び賃借料	1,615		1,615	1,387		1,387	1,387		1,387
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	7,631		7,631	10,197		10,197	10,197		10,197

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	1,197		1,197	6,000		6,000	6,000	
一般財源	6,434		6,434	4,197		4,197	4,197		4,197
計	7,631		7,631	10,197		10,197	10,197		10,197

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	15,808千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳 発掘調査民間負担分 1,197千円 参加費等の事業実施のための収入説明
	補正予算	-5,758千円			
	第1回(6月)	第5回			
	第2回(9月)	第6回			
	第3回	第7回			
	第4回	第8回		▲ 5,758	
予算合計	10,050千円				

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	埋蔵文化財の調査結果をまとめたり、出土した遺物等を保管管理することは、破壊された遺跡を記録保存として後世に残ることとなり、文化財の適切な保存に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	埋蔵文化財を対象として、出土した遺物等の整理・調査・保管管理すること意図としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在は遺物を調査・整理・保管管理することを主眼において実施しているが、今後は保管されている遺物等を市民に周知することを含め、成果の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財は国民の宝として後世に遺していかなければならないので、本事業の廃止・中止は非常に影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	これまで、2ヶ所にあった調査事務所を運営面では1ヶ所に統合し、事業費の削減を図った。測量業務を民間委託することで効率化を図った
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、調査事務所には事務補佐員を配置しており、職員の業務は施設の維持管理及び資料整理の一部を担っており、業務時間の削減を図っている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っているか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は市民全体の役目であることから、本事業実施内容は公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	民間開発に伴う調査や工事立会などが増加傾向にあり、埋蔵文化財発掘調査に対応できる職員が不足しているため、発掘調査全般を民間委託するなどして対応しているが、今後は積極的に導入できるように検討していきたい。また、作成した報告書(発掘調査の成果)や出土遺物については、郷土館等に展示し、市民に紹介していくことが必要と考えている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・緊急埋蔵文化財発掘調査の実施 ・調査事務所の管理運営 ・大隅国建国1300年に合わせて、奈良、平安時代の遺物の整理・調査研究 ・遺物等の展示(郷土館等へ) ・緊急埋蔵文化財発掘調査事業との統合を図り、事業の成果向上に努める。 ・保管されている遺物等を市民に周知することで、霧島市の歴史への理解や文化財保護の気運を高めることが期待される。	・調査事務所の管理運営 ・大隅国分寺跡や大隅国府跡に関連する遺跡や遺物の整理・調査研究 ・調査研究の成果を展示(郷土館等へ) ・隼人事務所に収蔵している出土遺物の保管場所の検討。 ・大隅正八幡宮境内及び社家に関する資料の整理及び展示

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H22 ~ H25)
	目	7	文化財保護費		文化財保護法・遺失物法
コード	774373				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
和銅6(713)年に建国された大隅国は、平成25(2013)年に建国1300年を迎える。そこで、これを機に次の三つのことを行う。 ①まだ、未解明の、当時の行政の中心地であった大隅国府の場所を特定するための基礎資料を得る。 1)発掘調査の実施 ②大隅国に係る諸遺跡・文献等を調査し、平成25年に記念事業関連イベントを実施する。 ③広く市民にも周知広報を行い、郷土への愛着・関心をもってもらう。			(1)準備委員会を4回開催 (2)国府推定地の国分府中地区を発掘調査 (3)連続講演会の実施(1月~3月) (4)ポスター、チラシ、幟旗、懸垂幕の作成 (5)建国に関する副読本の作成				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	委員会の数	件	2	4	4	0	
イ	発掘調査数(報告書作成含む)	件	3	2	2	2	
ウ	記念事業の数	件	3	4	19	3	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	建国1300年記念事業	事業の数	件	6	14	23	0
イ	市民	人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	郷土の歴史・文化について学び、文化財愛護思想の普及を図る	事業に参加した人	人	192	811	6,000	0
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,499	10,238	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	1,933
	補正予算	1,619
	予算合計	3,552
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	3,122
支出合計	3,122	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
大隅国が建国されてから平成25(2013)年に、1300年を迎えることから、この機に郷土へ愛着をもてるように、また、文化財への関心を呼び起こすことを目的に様々な事業を展開する。	平成22年度から実施してきたが、徐々に浸透してきた。霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加傾向にある。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
市民から、「100年に1回なので、インパクトは大きい。活用すべきである。」との意見が寄せられている。	地域住民や関連市町との連携を図った取り組みをしてもらいたい。一過性の事業ではなく、市民が歴史に興味を抱くような事業にしてもらいたい。また、女性をターゲットにした事業を実施していただきたい。

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	2		2						
7 賃金	776		776	679		679			
8 報償費	146		146						
9 旅費	292		292	436		436			
10 交際費									
11 需用費	1,144		1,144	600		600			
消耗品費	368		368						
燃料費	4		4						
食料費									
印刷製本費	772		772	600		600			
光熱水費									
修繕料									
12 役員費				15		15			
通信運搬費									
広告料									
手数料				15		15			
保険料									
13 委託料	557		557	1,500		1,500			
14 使用料及び賃借料	205		205						
15 工事請負費				27,000		27,000			
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金				10,800		10,800			
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,122		3,122	41,030		41,030			

財源内訳	国								
	県				10,750		10,750		
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				7,450		7,450		
一般財源	3,122		3,122	22,830		22,830			
計	3,122		3,122	41,030		41,030			

補助率	国							
	県				1/2			
補助基本額								

平成24年度	当初予算	1,933千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算	1,619千円							
	第1回				第5回				
	第2回				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回	1,619			第8回				
	予算合計	3,552千円			参加費等の事業実施のための収入説明				

事務事業コード	774373	事務事業名	「大隅国」建国1300年記念事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国建国1300年記念事業を通して、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることをすることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の歴史や文化を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国建国1300年記念事業を通して、文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが必要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市内の文化財の所在や歴史・文化について知らない市民が多い。よって本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民の歴史への関心を呼び起こす機会が少なくなり、郷土の歴史・文化についての理解力や文化財に対する愛護心が希薄になっていく。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	関連事業の開催については、行政のみ実施するのではなく、例えば上野原縄文の森や県立埋蔵文化財センター・歴史資料センター黎明館、観光協会などと連携した事業を展開することで、コストの削減を図る。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	上記に記したように、他の団体との連携やボランティアを起用することで、人件費のコスト削減については可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の主旨は霧島市全体の利益に適うものであり、大隅国に関係する文化財であり、また、参加呼びかけも市民全体を対象としている。事業の実施については、市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけているので、公平性が保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市だけでなく、県内(特に大隅地域)にも積極的に周知を図ること必要である。特に平成25年度で進めていく、企画展や郷土芸能祭等はそれぞれの市町と連携を図り進めていくことが重要である。また、ボランティアの確保、学校・市民団体の記念事業参加への呼びかけなど、今後、広く市民を巻き込んだ取り組みが必要である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 (1) 実行委員会の開催 (2) 連続講演会、シンポジウム、巡回企画展、史跡めぐり、ミュージカル、隼人舞の共演、建国記念郷土芸能の祭典等の実施 霧島市の文化財や大隅国建国に纏わる歴史観を改めて認識していただく。また、大隅国府の実態を解明するための発掘調査を建国1300年を契機としてはじめることができる。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	774110	事務事業名	郷土館等管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5202
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 54 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
	コード	774110			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
平成25年度から国分郷土館管理運営事業、横川郷土館管理運営事業、霧島歴史民俗資料館管理運営事業、隼人歴史民俗資料館管理運営事業、隼人塚史跡館管理運営事業、郷土館関係各種企画事業と統合し、郷土館等管理運営事業とする。 霧島地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷への造詣を深める。また、それぞれの郷土館等が持つ資料などを活用して、特別展・企画展・郷土館収蔵品展等を実施する。併せて、市内の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、市内の特色ある歴史・文化に触れ、郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。 (事務内容) ・郷土館等の管理・運営並びに企画展、巡回展の実施。青少年を中心とした体験学習の実施			企画展「古事記編さん1300年と霧島」「国分の今昔」 体験学習「ミニ門松づくり」「文化財少年団」 第9回美術展巡回展示(ジュニア部門)				
			平成25年度計画				
			企画展「大隅国建国1300年記念関連巡回展」「大隅国建国と霧島」 体験学習「ミニ門松づくり」「文化財少年団」 第10回美術展巡回展示(ジュニア部門)				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	開館日数	日	313	308	308	308	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	6,785	6,052	7,000	7,000
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,499	10,238	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)	
予算額	当初予算額	15,947	13,844
	補正予算額	0	
	予算合計	15,947	13,844
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	391	
	一般財源	15,171	
支出合計	15,562		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
霧島市の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、郷土館等を建設した。	郷土館等の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展、体験学習などを積極的に実施しているが、入館者数は6000人~6700人と低迷している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。(平成20年3月に方針決定)	特になし

事務事業 コード	774110	事務 事業名	郷土館等管理運営事業				担当部	教育部
							担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	4,764		4,764	4,785		4,785	4,785		4,785
8 報償費				10		10	10		10
9 旅費				3		3	3		3
10 交際費									
11 需用費	6,178		6,178	3,618		3,618	3,618		3,618
消耗品費	405		405	408		408	408		408
燃料費	4		4	16		16	16		16
食料費									
印刷製本費	91		91	74		74	74		74
光熱水費	2,503		2,503	2,560		2,560	2,560		2,560
修繕料	3,175		3,175	560		560	560		560
12 役員費	264		264	266		266	266		266
通信運搬費	184		184	186		186	186		186
広告料									
手数料	26		26	26		26	26		26
保険料	54		54	54		54	54		54
13 委託料	4,304		4,304	4,934		4,934	4,934		4,934
14 使用料及び賃借料	40		40	56		56	56		56
15 工事請負費									
16 原材料費				10		10	10		10
17 公有財産購入費									
18 備品購入費				150		150	150		150
19 負担金補助・交付金	12		12	12		12	12		12
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	15,562		15,562	13,844		13,844	13,844		13,844

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	391		391	592		592	404	
一般財源	15,171		15,171	13,252		13,252	13,440		13,440
計	15,562		15,562	13,844		13,844	13,844		13,844

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成 24 年度	当初予算	15,947 千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
	補正予算				入館料、コピー代、書籍購入代 国分郷土館体験学習参加料	
	第1回(6月)		第5回		参加費等の事業実施のための収入説明	
	第2回(9月)		第6回			
	第3回		第7回			
	第4回		第8回			
	予算合計	15,947 千円				

事務事業コード	774110	事務事業名	郷土館等管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	古事記編さん1300年記念として、「古事記と霧島」展を開催した。また、体験学習、灯ろう祭などの年中行事、文化財少年団の育成をはじめ、常設展示物の入れ替えなどを実施した。昔の道具の展示や旧国分の今昔の写真の展示には好印象が残ったという感想が寄せられている。今後も入館者の増加につながる展示方法を検討する。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ・国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」 ・大隅国建国1300年記念巡回展企画展「大隅国建国と大隅正八幡宮の至宝～湾奥の古代・中世～」 ・大隅国建国1300年記念パネル展「大隅国と霧島」 郷土館等の事務事業の統合を図り、各施設の連携を図ることによって成果の向上に努める。 郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ・「大隅正八幡宮境内及び社家跡」国指定記念企画展 ・「天降川流域の火砕流堆積物」国指定記念巡回企画展 ・文化財少年団の育成 ・体験学習「ミニ門松づくり」 ・灯ろう祭の開催

事務事業コード	774320	事務事業名	山ヶ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	横川教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	6382
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 14 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774320				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただくとともに、地域の活性化を図る。また、中学生による案内を実施することにより、生徒が地域の歴史を学ぶとて、郷土に誇りを持つとともに、参加者も案内に真剣に耳を傾けることで、より地域や歴史を正しく理解することができる。 (事業内容) ①山ヶ野金山のウォーキング ②中学生による案内(説明) ③地元地区民による湯茶の接待 ④郷土芸能の披露 ⑤山ヶ野地区内の整備清掃活動 (業務内容) ①補助金交付に係る諸手続き								
補助金・負担金の交付先		山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会		補助金の対象経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)				単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	地元ボランティア・実行委員会員数			人	280	280	300	300
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	霧島市民		霧島市民	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解していただく。		ウォーキング参加者	人	408	344	400	400
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する		郷土の歴史を学んだ市民の数	人	10,499	10,238	***	***
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 山ヶ野金山を活かした地域おこしの一環として14年度から山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会を組織して実施している。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ ①参加者の申込が年々多くなってきている。 ②地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。	
予算額	当初予算額	500			
	補正予算				
	予算合計	500			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ ウォーキング大会参加者から、地域の方々のもてなしや中学生による案内説明によるこぼれ、山ヶ野金山のかつて栄えた歴史や規模を確認することができ、歴史的遺産や文化財の大切さを知ったという意見が多数ある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	500			
支出合計	500				

事務事業コード	774320	事務事業名	山ヶ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 8人									補助金	500	補助金	500	補助金	500
										自主財源	933	自主財源	800	自主財源	800
									合計	1,433	合計	1,300	合計	1,300	
									自主財源率	65%	自主財源率	62%	自主財源率	62%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
									合計		合計		合計		
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									8人	補助金負担金合計	500	補助金負担金合計	500	補助金負担金合計	500
										自主財源合計	933	自主財源合計	800	自主財源合計	800
										自主財源率	65%	自主財源率	62%	自主財源率	62%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額						全国	九州	県	その他
1										
2										
3										
4										
5										
合計										

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	500
補正予算	
合計	500

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774320	事務事業名	山ケ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にする愛護思想を育むことができ、地域の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より効果を上げるため実行委員会で検討している。今後は参加者の募集だけでなく、ボランティアの公募を検討するなど、新たな視点で進める必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民(中学生～高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金交付に係る諸手続きを実施している。実行委員会については、臨時職員を実行委員会で雇用しており、当日は約280名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の方がボランティアとして、ウォーキング大会の運営に携わっておられ、地域の活性化と文化財の活用がうまくマッチした事業と考える。特に、中学生がガイド役を務めており、参加者からは好評を得ている。また、地元の小学生を招待するなどして、後継者育成も図られている。 一方、参加者の固定化と参加人数の制限が今後の課題であるが、本事業の主旨や事業内容を鑑みた場合、非常に難しい課題でもある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
・広報による周知の徹底を図る。 ・中学生による案内(学習、資料作成、発表)の充実 ・地域住民による接待。 ・ボランティアの募集。 地域の児童生徒が山ケ野ウォーキングに参画することで、地域の郷土を知るとともに、地域住民(高齢者)との交流が図られる。	・バスで送迎や地域住民による湯茶接待に限界があるため、参加者の人数に制限があるが、送迎の工夫やボランティアの公募などを行うことにより、参加者の増員を図る。 ・地域外からのボランティアを募り、地域との交流を図ることで、地域ボランティアの活性化と山ケ野地区の再発見さらには定住化が図られる可能性がある。

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	45-5111
				内線番号	5202
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	774321			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から始まり、クマソ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。市内には数多くの文化財が点在している。そこで、地域住民が霧島市内の文化財を見学することで、文化財や郷土の歴史への認識を深め、愛郷心を高揚するとともに、文化財を大切にすることを促す。(業務内容) ①市報・チラシなどによる広報・募集 ②市内全域を対象にした年6回の史跡めぐり(徒歩・バス) ③見学資料の配布・参加料の徴収(徒歩:300円, バス:700円)			市内史跡めぐり(6回) ※1回は雨天のため中止 ※第2回は大隅国建国1300年周知のため、無料とした			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	史跡めぐりの実施回数	回	6	6	7	7
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	市民	人口	127,365	127,475	128,362	128,861
イ						
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	郷土の歴史・文化を知ってもらう	人	102	167	260	260
イ	"	人	35	42	40	40
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	人	10,499	10,238	***	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	230
	補正予算額	0
	予算合計	230
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	96
	一般財源	95
支出合計	191	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成18年度から霧島市の歴史や文化財を広く知っていただくことを目的として開始した。	平成17年に霧島市が誕生して以来、市民の多くの方が郷土(霧島市)の歴史や文化財について、関心を寄せている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。	特になし

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	10		10	10		10	10		10
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	19		19	17		17	20		20
消耗品費	19		19	17		17	20		20
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	162		162	203		203	200		200
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	191		191	230		230	230		230

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	96		96	88		88	88	
一般財源	95		95	142		142	142		142
計	191		191	230		230	230		230

補助率	国		
	県		
補助基本額			

平成24年度	当初予算	230千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	230千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加料、資料代、バスの場合はバス負担金として	
参加費等の事業実施のための収入説明	
徒歩 → 300円	バス → 700円

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の文化財を市民に周知を図り、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、郷土の歴史や文化を正しく理解することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	史跡めぐり参加者を増やしていくことや内容の充実を図ることで、郷土の歴史、文化を正しく認識している人が増え成果が向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えていくことが懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っているか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の広報も市報やチラシ、ホームページで行っており、市民に広く呼びかけている。 バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、定数を超えた場合は抽選を行なっているため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	・参加者が固定化する傾向にあるので、史跡めぐりの内容の充実や広報活動の工夫の検討が必要である。 ・今後はジオパークを含めた地質・火山や自然などの分野も取り入れた内容も検討する。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
大隅国建国1300年記念事業として7回の史跡めぐりを開催する。 ・全て大隅国に関する史跡を中心に実施 ・資料代300円、バス代700円を参加者に負担 ・各種行事で幅広くチラシ配布したり、学校への呼びかけ、ホームページによる広報を行い、新たな参加者の掘り起しを行う。	・史跡めぐりコースが固定化しないように新たなコースの掘り起こしを図る ・市民の関心のあるテーマ・コースを適切に取り入れる ・鹿児島正八幡宮境内と社家 ・天降川流域の火砕流堆積物関連地域での実施